

## 「金沢大学の研究現場に見る“再生”への道」



主催：金沢大学地域連携推進センター

共催：読売新聞東京本社北陸支社

期間：平成24年7月1日～7月28日（全4回。1回のみ受講も可能）

会場：金沢大学サテライト・プラザ（金沢市西町三番丁16番）

受講無料

人類の工業化やエネルギー消費の歴史を振り返り、持続可能な社会を見出し、生きていくために、金沢大学の研究を通して、エネルギー・環境・地域経済の過去から現在に至る状況を知り、それぞれの再生への道を見出していきます。

第1回

7月1日(日) 14時～15時30分 (90分)

大気中で塗って製造できる有機薄膜太陽電池の開発  
——野外での実証実験が遂に始まった——

理工研究域物質化学系 教授 高橋 光信

製造時の投入エネルギーが少なく、大がかりな装置を使わない、開発中の新型太陽電池について紹介します。ただし現時点では、発電効率はシリコン型の4分の1程度であり、耐久性の課題も残ります。しかし、実用化されればカーポートのような、これまで太陽電池の重みに耐えられなかった建築物にも設置でき、街並みや外見を保ったまま、多くの家や会社が発電装置になるのです。

第2回

7月14日(土) 14時～15時30分 (90分)

地域経済の再生に向けて  
——工業化から文化的投資へ——

人間社会研究域経済学経営学系 准教授 佐無田 光

現代日本の地域経済は複合的な危機に直面しています。国民経済システムが非統合化する中で、いかんにして内発的に持続可能な新たな地域発展の基盤を構築することができるでしょうか。北陸諸都市や奥能登地域を素材にして、ポスト工業的地域再生の道筋を考えたいと思います。

第3回

7月21日(土) 14時～16時10分 (130分)

能登半島の環境維持と再生  
——河川水系の変化——

環日本海域環境研究センター 教授 長尾 誠也

能登半島では、社会経済活動の変化に伴う森林の伐採・植林と管理放棄、水田の拡大と放棄等により、河川流域の自然環境も変化しています。環境維持と再生のためには、河川流域環境の現状把握とともに、過去の環境変化の影響を適切に評価することが重要です。本講義では、能登半島の熊木川流域と沿岸域の七尾西湾を対象に、過去の環境変遷と現状について紹介し、今後の対応について考えてみたいと思います。

——大気の変化——

環日本海域環境研究センター 准教授 松木 篤

東アジアは大陸沿岸地域の急速な経済発展と相まって大気汚染物質の排出が進行し、今後も越境汚染の問題等が懸念される地域です。大陸の風下に位置し、日本海に突き出した能登半島は極めて敏感に東アジアの大気環境に起きている変化をとらえることができます。本講義では、能登半島そのものを天然の大気環境センサーにみ立て、現地で金沢大学が進めている大気観測研究の取り組みをご紹介します。

第4回

7月28日(土) 10時～11時30分 (90分)

里山里海と地域再生  
——金沢大学の取り組み——

環日本海域環境研究センター 教授 中村 浩二  
金沢大学里山里海プロジェクト 代表

2011年6月に「能登の里山里海」が、国連食糧農業機関が実施している世界農業遺産(GIAHS)に、日本ではじめて認定されました。これは能登の伝統文化、農林水産業、生物多様性、景観が高い国際評価を得たことを意味します。しかし、能登では、近年、急速に過疎・高齢化が進行しつつあります。世界農業遺産に認定されたとはいえ、地域を維持し、発展させて行くことは簡単ではありません。この講義では、里海、里山とは何か、現在社会における重要性と問題点とともに、金沢大学が能登で実施している人材養成事業について述べます。

定員は毎回120名です。事前申込が必要です。申込方法は、裏面を参考としてください。

## 講座開設にあたってのメッセージ

昨年の原発事故により、今、省エネや代替エネルギーへの関心が大きくクローズアップされています。思えば産業革命以来、工業化が進み人類は多くの便利を手にしてきましたが、一方で公害や地球温暖化という問題に頭を痛めてもいます。しかし、そうした問題を解決するのも人類の英知です。自然と文化に新たな価値を見出し、心に安らぎもてる「再生」への道を金沢大学の第一線の研究を通して、一緒にお考えいただければ幸いです。



金沢大学  
地域連携推進センター長  
神谷 浩夫



読売新聞  
東京本社北陸支社長  
中川 俊哉

「人間によって作られた問題は、人間によって解決できる」。冷戦危機のなか、希望を失わなかったケネディ米大統領の言葉です。東日本大震災後、これまで築き上げた科学文明への信頼が揺らぎ、新たな価値観を模索する動きが出ています。時代の閉塞感に押しつぶされることなく、人間の作った問題に立ち向かう智慧と勇気が求められています。読売新聞は金沢大学と市民の皆様と一緒に、人間の幸せを再生する道を探してまいりたいと考えています。

参加費は無料です。たくさんの方の受講をお待ちしております。

- ・開催日時 おもて面をご覧ください。
- ・会場 金沢大学サテライトプラザ  
(金沢市西町三番丁16 番地 金沢市西町教育研修館内)
- ・受講対象 一般の方(高校生以上)
- ・受講定員 120名 先着順  
定員に達し次第締め切らせていただきます。
- ・受付期間 平成24年5月23日(水)～7月25日(水)
- ・申込方法 事前申込が必要です。電話又はFAXでお申し込みできます。FAXでのお申し込みの場合は、下の欄を記入され、本紙をそのまま送信してください。また、「金沢大学地域連携推進センター」のWEB サイトからもお申し込みいただけます。

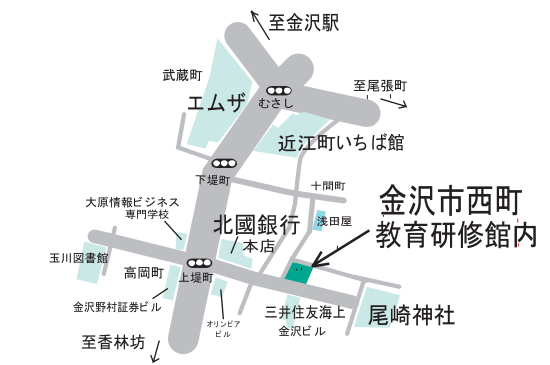
URL <http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/crc/>

### 会場のご案内

#### 金沢大学サテライトプラザ

(金沢市西町三番丁16 金沢市西町教育研修館内)

金沢駅から バス(北陸鉄道)……約15分武蔵ヶ辻下車



※駐車場は数に限りがございますので、ご来場の際は公共機関をご利用願います。

## 公開市民講座申込用紙

お名前	フリガナ	電話番号	
		FAX番号	
ご住所 (市と町名まで)	□□□□□□□□	受講講座	<input type="checkbox"/> 第1回 7月1日(日) <input type="checkbox"/> 第2回 7月14日(土) <input type="checkbox"/> 第3回 7月21日(土) <input type="checkbox"/> 第4回 7月28日(土)
			受講を希望される 回に○印を付けて ください。  4回すべての講座を受講された方には、最終日に 「皆勤の賞状」をお渡しします。

※ご記入頂いた個人情報については、適切に管理し、本市民講座運営のために使用します。

◆お問い合わせ◆

金沢大学地域連携推進センター 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5905

FAX 076-234-4045